

2024ジャイアンツカップ[®]東海地区予選A開催要項

- 開催時期 6月29.30日（予備7月6日）
- 参加チーム 東海A ボーイズ 4 リトルシニア 2 ヤング（ポニー） 2 計 8チーム
（ボーイズ東2、中央1、西1）
- 試合形式 トーナメント方式
- 球場 1日目 蒲郡市民球場・渥美運動公園球場
2日目 新城総合公園野球場・（三州ボーイズG）
予備日 渥美運動公園球場
- 参加費 1チーム20,000円（160,000円）

会計担当 松尾
- 予算 球場使用料 4球場 60,000円
弁当代 2日間延20人800円 16,000円
審判費 初日 10人 5,000円 50,000円
2日目 6人 5,000円 30,000円
雑費（審判・役員飲料水） 20,000円
- 試合球 主催者側より提供
- 選手登録 ジャイアンツカップ規定による（選手20名） 5月末登録済選手であること
エントリー表 当日1部+メンバー表は各リーグのもの5枚提出
指導者、選手共連盟証明書により確認ができること
- その他 放送は各チームの保護者にて実施
BSOは1塁側チーム スコアボードは3塁側チームにて実施
ボールボーイは各チームから2名配置し上ユニフォームを脱ぐ（登録選手可）
飲み物・茶菓子は本部に準備（接待なし）
- 審判 予選 ボーイズ 4名 リトルシニア 4名 ヤング（ポニー） 2名
（A、B球場共 ボーイズ 2名 リトルシニア 2名 ヤング（ポニー） 1名）
決勝 ボーイズ 2名 リトルシニア 2名 ヤング（ポニー） 2名
- 担当役員 坂野理事待遇
愛知県西支部 渡会支部長（ボーイズ）
愛知県東支部 富田支部長（ボーイズ）
愛知県中央支部 東支部長（ボーイズ）
リトルシニア 中田理事
ヤング 三輪支部長

2024ジャイアンツカップ東海地区予選B開催要項

- 1 開催時期 7月6日（予備 7月7日）
- 2 参加チーム 東海A 2位チーム 静岡県 1位チーム
- 3 試合形式 トーナメント方式
- 4 球場 1日目 渥美運動公園球場
予備日 未定
- 5 参加費 静岡県野 新城総合公園野球 20,000円

会計担当 松尾 勝

- 6 予算 球場使用料 1球場 20,000円 20,000円
審判費（食事代込）1日 4人 5,000円 20,000円

計 42,000円

- 7 試合球 主催者側より提供

- 8 選手登録 ジャイアンツカップ規定による（選手20名） 5月末登録済選手である；
エントリー表 当日1部+メンバー表は各リーグのもの5枚提出
指導者、選手共連盟証明書により確認ができること

- 9 その他 放送は各チームの保護者にて実施
BSOは1塁側チーム スコアボードは3塁側チームにて実施
ボールボーイは各チームから2名配置し上ユニフォームを脱ぐ（登録選手可）
飲み物・茶菓子は本部に準備（接待なし）

- 10 審判 決勝 ボーイズ 2 リトルシニア 2名 ヤング（ポニー） 1名

- 11 担当役員 松尾企画運営部長
静岡県支部 矢田支部長（ボーイズ）
リトルシニア 中田理事
ヤング 三輪支部長

2024ジャイアンツカップ東海地区予選C開催要項

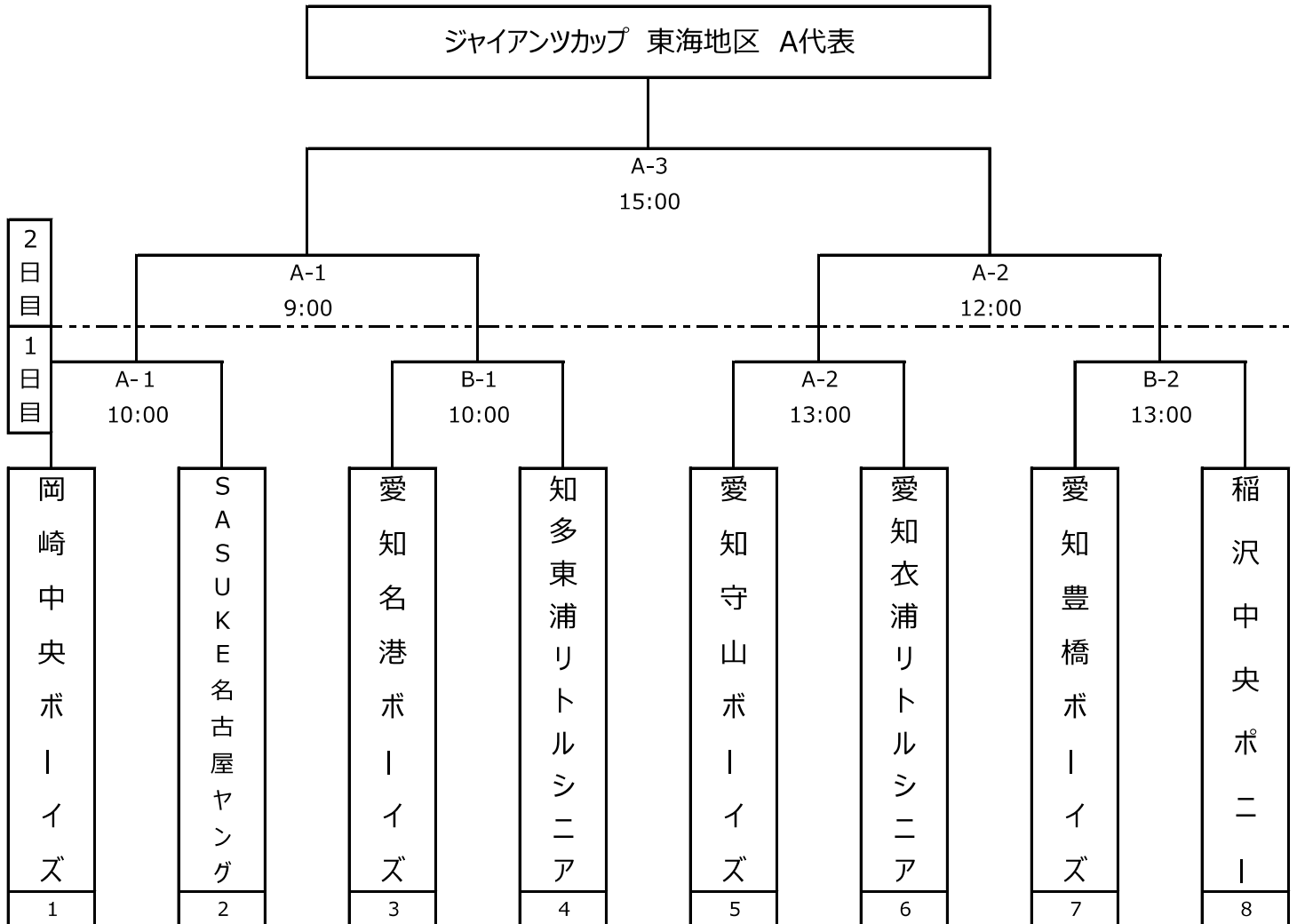
- 1 開催時期 6月29.30日（予備7月6日）
- 2 参加チーム 東海C ボーイズ 5 リトルシニア 2 ヤング（ポニー）1 計 8チーム
（岐阜 3チーム 三重 2チーム）
- 3 試合形式 トーナメント方式
- 4 球場 1日目 上石津球場・浅中球場
2日目 上石津球場
予備日 調整中
- 5 参加費 1チーム20,000円（160,000円）
会計担当
- 6 予算 球場使用料 4球場 60,000円
弁当代 2日間延20人800円 16,000円
審判費 初日 10人 5,000円 50,000円
2日目 6人 5,000円 30,000円
雑費（審判・役員飲料水） 20,000円
- 7 試合球 主催者側より提供
- 8 選手登録 ジャイアンツカップ規定による（選手20名） 5月末登録済選手であること
エントリー表 当日1部+メンバー表は各リーグのもの5枚提出
指導者、選手共連盟証明書により確認ができること
- 9 その他 放送は各チームの保護者にて実施
BSOは1塁側チーム スコアボードは3塁側チームにて実施
ボールボーイは各チームから2名配置し上ユニフォームを脱ぐ（登録選手可）
飲み物・茶菓子は本部に準備（接待なし）
- 10 審判 予選 ボーイズ 4名 リトルシニア 4名 ヤング（ポニー）2名
（A、B球場共 ボーイズ2名 リトルシニア2名ヤング（ポニー）1名）
決勝 ボーイズ 2名 リトルシニア 2名 ヤング（ポニー）2名
- 11 担当役員 伊藤理事待遇
岐阜県支部 澤田支部長（ボーイズ）
三重県支部 三林支部長（ボーイズ）
リトルシニア
ヤング

2024 ジャイアンツカップ 東海地区予選 A

1日目 令和6年6月29日(土) A 球場 蒲郡市民球場
 アクセス 蒲郡市形原町桶沢27
 mp 51186157*82
 開門 8:30
 B 球場 渥美運動公園野球場
 アクセス 田原市小塩津町後山1
 mp 196086006*5
 開門 8:30

2日目 令和6年6月30日(日) A 球場 新城総合公園野球場
 アクセス 新城市浅谷
 mp 301064029*36
 開門 7:30
 B 球場 三州ボーイズグラウンド
 アクセス 西尾市一色町坂田新田築合
 mp 196737468*40
 開門 7:30

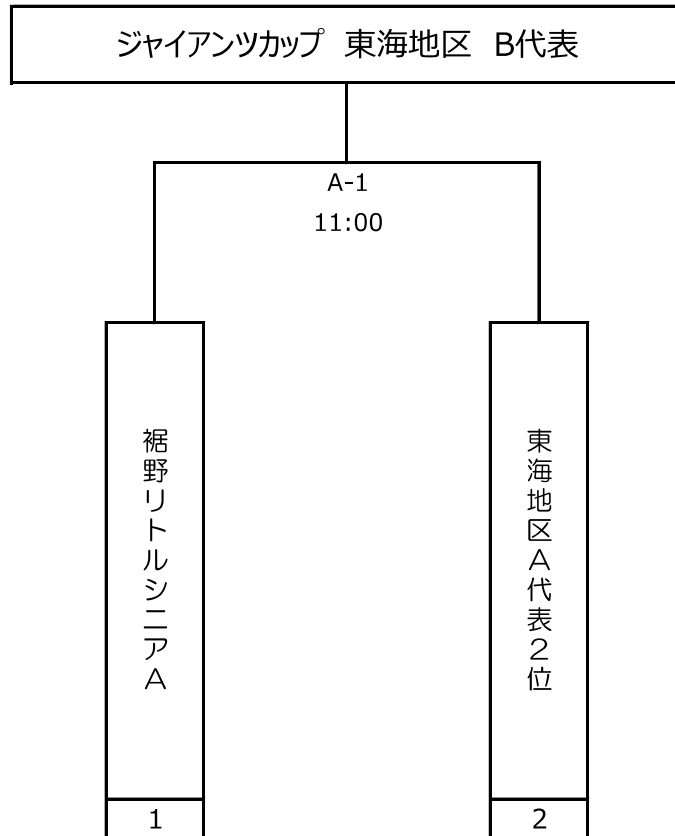
予備日 令和6年7月6日(土) 予備 A 球場 渥美運動公園野球場
 アクセス 田原市小塩津町後山1
 mp 196086006*5
 開門 7:30



2024 ジャイアンツカップ 東海地区予選 B

1日目 令和6年7月6日（土） A 球場 渥美運動公園野球場
アクセス 田原市小塩津町後山 1
mp 196086006*5
開門 9:00

予備日 令和6年7月7日（日） A 球場 未定
アクセス
mp
開門



ジャイアンツカップ予選のグラウンド経費について

① グラウンド使用料

- (1) 公営球場については、各自治体で決められている球場使用料とする。通常、石灰・砂等は常備されているが、常備されていない球場については別途相談。
- (2) 各チームの専用グラウンドについては、各支部料金／日とする。石灰・砂代等の費用については、グラウンド使用料に含むものとする。
- (3) 領収書は、公営球場は自治体の領収書、チーム専用グラウンドについてはチーム領収書を添付してください。

② 昼食代について

- (1) ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤング、グラウンド責任者、審判の食数分を用意してください。
- (2) 当日の配置人数については、ブロックより連絡します。
- (3) 金額については、税込800円／食 以内とする。
- (4) 領収書は、購入した店舗の領収書を添付してください。

③ 飲物代・茶菓子・備品代について

ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤングリーグ、グラウンド責任者、審判等の飲物・茶菓子の用意をしてください。

- (1) 費用については、下記の一律金額とする。
一律 2,000円／試合（2試合の場合は4,000円／日）
- (2) 領収書を準備しますのでサインをお願いします。

④ その他について

- (1) 高校グラウンド借用等御礼のための手土産等については、店舗の領収書を添付してください。
- (2) グラウンド終了後速やかに、グラウンド担当経費明細報告書と領収書を提出してください。
- (3) 書類を送られる方は、レターパック等で送ってください。レターパック等費用も請求に含めていただいて結構です。その場合、領収書を添付してください。

その他ジャイアンツカップ予選取り決め事項

- ① 役員及び審判配置は別途連絡
- ② 試合球について
 - (1) ジャイアンツカップ事務局にて支給します。
 - (2) 各グラウンドに試合数×6個準備します。
 - (3) ファールボールでの紛失、ホームランボールについては事務局にて補充します。
- ③ 熱中症対策特別規定
 - (1) 球場責任者の判断により、4回終了時 5分間のインターバルを設ける。
 - (2) 上記のインターバルを設けた場合は試合時間にカウントしない。
- ④ 大会運営方法
 - (1) 運営（球場）責任者及び運営役員 3名
グラウンド準備は各チーム保護者で協力して実施 放送各チームから1～2名、記録1名、BSO1塁側チーム スコアボード3塁側チーム 4回終了後の整備は各チーム選手5名で行う
 - (2) 試合間隔は試合時間含め3時間を取り 密にならないように運営する。
 - (3) チーム到着後エントリー表1枚+メンバー表5部を提出する
 - (4) 到着、帰途時の挨拶は『無し』
 - (5) 試合前のメンバー表交換の集合は、球場責任者、審判、監督、主将で行う
 - (6) 接待は『無し』とし、飲料（個別ペットボトル）、弁当等は1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
 - (7) 試合会場へは1時間前には到着すること
 - (8) 雨天時の開催有無は当日7：00までに判断し各連盟に連絡する。
- ⑤ 試合に関して
試合開始の審判による両チームの挨拶は、監督・コーチはベンチ前にて挨拶
- ⑥ 参加チームについて
 - (1) ベンチ入りするチーム構成は、選手20名以内、監督1名、コーチ（代表者、マネージャー、スコアラー等を含む）3名以内、計4名までとする。
 - (2) チーム役員、監督等の接待は禁止。
- ⑦ その他
感染予防については各チームにて判断対応 その他詳細は、別紙 2024試合規定通りとする、

今大会は原則として当該年度の公認野球規則、および大会特別規定を適用して開催する。

- ・各チームは原則として予定試合開始の1時間前に到着すること。またその旨を本部に連絡すること。
- ・エントリー表は当日提出（ポーズリーグ中日本ブロックHPに掲載）とし、本部は登録選手証等で登録選手であることを確認する。
- ・ベンチ入りは選手20名 監督1名 コーチ（代表者、マネージャー、スコアラー等を含む）3名以内、計4名までとする。
- ・ベンチは、トーナメント表の組み合わせの左側を 一塁側とする。
- ・試合開始40分前、または前試合4回終了後（コールドゲームのときは試合終了次第）までにメンバー表5枚と投手の投球数申告用紙3枚を本部に提出。
 - * 大会初日または連日でなければ投手の投球数申告用紙は必要なし
- ・本部にてエントリー表とメンバー表の確認を行い、用具の点検（各連盟規定）も行う。各チームの監督と主将は審判員立会いの下で先攻・後攻を決める。
 - * 選手審査は行わない。（選手登録証とエントリー表・メンバー表の確認のみ）
- ・試合球は主催者（ジャイアンツカップ事務局）から支給する。
- ・試合前のシートノックは5分間とし時間は厳守する。登録選手(20名)のみで行いノック補助は選手5名まで可能とする。守備位置につかずシートノックの補助をするメンバーはヘルメットを着用すること。
- ・試合は原則として7イニング制とし、4回終了時点を持って正式試合とする。
- ・雨天などやむを得ない事情で試合を中止する場合、コールドゲームは、両チームが攻撃を完了し成立とする。
- ・コールドゲーム宣告の時点での引き分けの場合、打ち切り時点におけるメンバー9人ずつによる抽選で次の試合に進出するチームを決める。
- ・また4回を満たさず試合が中止になった場合はサスペンデッドとして、後日大会本部が指定した会場、日時で続きを行う。
- ・得点差によるコールドは4回終了時点で10点差以上、また5回で7点差以上ついた場合に適用する。（決勝戦は5回で7点差以上）
- ・また7回を終了した時点で同点の場合は延長戦とするが、延長10回、もしくは10回を満たさなくても試合開始から2時間以上を経過した場合にはタイブレーク方式により延長を再開する。決勝戦に限り試合時間を2時間20分とする。
- ・タイブレークは延長11回（もしくは10回を満たさずに2時間以上を経過した場合はその次のイニング）から、1アウト満塁の状態を再開する。この場合、前のイニングの打撃を完了した選手の次の打者の選手が最初の打者となり、走者は1塁から順に前のイニングの最後から数えて3人の打者がつとめる。（この場合の代打及び代走は認められる。）
- ・投手のノーヒットノーランは認めるが、完全試合は認めない。またタイブレークによる出塁した3人の選手は自責点扱いしない。
- ・打者はタイブレークにより出塁した3人の選手は出塁の記録は認めないが、盗塁（盗塁死を含む）得点、残塁は記録する。
- ・投手の投球数に関しては、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」に基づくものとする。
 - (1) 1日最多80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する。
 - (2) 1日80球投球後、翌日投球を休めば、3日目は80球の投球を可とする。
 - (3) 上記(1)、(2)に関しては、打席の途中で制限数が来た場合、当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にはカウントしない。
 - (4) 3連投（連続する3日間）する場合は、1日の投球数を40球以内を厳守する。4連投（連続する4日間）は禁止する。
 - (5) 連続する2日間で80球を超える投球をした投手並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
 - (6) ボークは投球数としない。
 - (7) 前のイニングに制限数に達し、投球できない投手がファウルラインを越えて準備投球に向かった場合でも、その時点で投手の交代を認める。（公認野球規則5.10 (i) よりも投球数制限を優先する）
 - (8) 万が一、制限数を超過して投げられた投球も有効とする。
- ・打者（次の打者も）・走者は危険防止のため必ず両耳に安全ガードを付けたヘルメットを装着すること。捕手も防護ヘルメットや所定の防具を装着すること。
- ・怪我などの理由により一時的に出場できない選手に対して「特別代走」を認める。この場合、その打者の最も近い打撃を終えた選手（投手を除く）を対象とする。
- ・監督・コーチは1試合につきマウンドへ行けるのは2回まで。（投手交代の場合は回数に数えない）3回以上マウンドに行ったら、その時点の投手は自動的に交代しなければいけない。また延長戦になった場合はそれ以前の回数に関係なく、3イニングごとに1回だけ投手のところへいくことは認める。
- ・監督またはコーチが同一投手のもとへ行くことに関して1イニングに2度目に行けば、投手は交代することとするが他の守備につくことができる。ただし、その試合の投手に戻ることはできない。
- ・規則5.10 (d) 【原注】前段のうち「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない」は適用しない。
- ・球場責任者の判断により、4回終了時5分間のインターバルを設ける。
- ・大会中の負傷または疾病に対して応急処置は施すが、それ以上の責任は負わない。
- ・投手の準備投球は、原則として6球以内（イニング間は3球）とする。
- ・サングラスは、防眩のため野手に限り身につけることができる。ただし、ミラーレンズ、ガラスレンズは禁止とする。
- ・試合中、次の試合のチームはグラウンド内で投球および送球練習をしてはならない。
- ・グラウンド内でのブルペンで投球練習を行うときは安全対策上、打球監視員を必ず1名置くこと。試合中の投球および送球練習は、1組ずつとする。
- ・試合中グラウンド内の素振りにはネクストサークル内とその他一人のみ。投手が投げているときの素振りは安全上禁止とし、素早く動ける体勢とする。
- ・ボールボーイ、シートノック補助員はベンチ入りまたはベンチ外メンバーが務め、両耳ヘルメットを着用すること
 - ※外野のボールボーイの配置はしない
- ・試合終了後のグラウンド整備は両チームの選手が共同で協力し実施する。